

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	小湊
全体計画		平成27年度		～	平成29年度	経費区分		—		内線		3645
事務事業名		12602 すこやか相談事業										
所 属		300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策		02020900 子育て環境の充実										
予 算		会計		01 一般会計								
科 目		科目		030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費								
事業		070000 すこやか相談事業										
事業目的						事業概要・効果						
3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達の状況を早期に把握し、発達障がい疑われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。						平成18年度から子ども課に専任のコーディネータを配置し「すこやか相談事業」を実施。対象児童全員のアンケート調査（保護者・クラス担任）を基に各園を巡回する中で、個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室へ繋げるなど早期支援を行う。併せてアンケートで児童の心配な点を上げてきた保護者全てに、スタッフから現在の児童の姿を伝えるなど保護者への支援も実施。小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、小学校へ引き継ぐとともに巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援ができる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
- 対象児童 420人 - アンケート回収率 保護者100% 保育士100% - 巡回 5歳児 63回、6歳児 61回、小1 12回 - すこやか教室 18回 - すこやか相談事業研修会 1回	- 対象児童 408人 - アンケート回収率 保護者100% 保育士100% - 巡回 5歳児 62回、6歳児 62回、小1 11回 - すこやか教室 19回 - すこやか相談事業研修会 1回
平成29年度 予定	平成30年度 予定
発達アンケートの実施 巡回 5歳児、6歳児、小1 すこやか教室 すこやか相談事業研修会 1回	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		6,524	6,814
特 定 財 源	国庫支出金	1,884	1,463
	都道府県支出金	1,884	1,463
	地方債	0	0
	その他	2	0
一般財源		2,754	3,888
人 員 数 (人)	正規職員	0.0	0.8
	嘱託職員	2.0	1.2
	臨時職員	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	5,775.2
	嘱託職員	5,510.0	3,306.0
	臨時職員	1,143.0	1,143.0
	計	6,653.0	10,224.2
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,177.0	17,038.2

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	229	臨床心理士・療育指導員謝礼、すこやか研修講師謝礼
11節 需用費	28	すこやか教室教材費、おやつ代等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,267	すこやか相談コーナー報酬、旅費費用弁償、郵便料等

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	304	臨床心理士・療育指導員謝礼、すこやか研修講師謝礼
11節 需用費	32	すこやか教室教材費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,478	すこやか相談コーナー報酬、旅費費用弁償、郵便料等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	発達障がい疑われる児童、支援が必要と思われる児童の早期発見、早期療育、早期支援により、児童の成長の促しと保護者支援を行うことで、スムーズな就学につなげる。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	本事業の実施により、乳幼児健診（3歳児健診）終了後の児童の発達の見守りを保障し、幼保小が連携して切れ目のない支援を行うことができています。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	事業の性質上、専門資格のある職員の関わりが不可欠である。 28年度より、子ども子育て支援交付金・利用者支援事業に位置づけ財源確保に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

幼保小のきめ細やかな連携により事業をおこなっている。幼保では公立と私立の温度差、学校では情報共有や連携において対応の違いがあるが、学校との連携については、指導主事、巡回教育相談員とも情報交換をしながら進めていく。保護者支援についても、通園している園と連携しながら寄り添った支援を行っていく。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
須坂市の子育て支援の核となる事業であり、今後も幼保小が連携し、支援の充実を図っていく必要がある	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
当市子育て支援の中核事業で、幼保・小連携した児童一人ひとりに寄り添った事業と認識している。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	